

試料・情報の利用目的及び利用方法	難治性腹部悪性腫瘍に対して非吸収性スぺーサー（ゴアテックスシート）留置術を施行した症例における安全性と有効性を評価するため、2006年9月1日から2020年12月31日までに難治性腹部悪性腫瘍に対する粒子線治療目的にゴアテックスシート留置術を施行された症例について調査する。
提供する試料・情報の項目	<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者基本情報：ID、年齢、性別、身長、体重、飲酒歴、基礎疾患（高血圧・糖尿病有無）、PS、治療対象疾患 2) 悪性腫瘍治療歴 3) 一般血液検査（WBC、Hb、Plt、CRP、PT%、PTINR、AST、ALT、ALP、BUN、Cre、Alb、T-Bil） 術前、術後1, 3, 7日目、術後1か月、3か月で測定 4) 各種腫瘍マーカー検査（AFP、PIVKaII、CEA、CA19-9、CA125、SCC） 術前、術後1か月、3か月で測定 5) 画像検査（造影CTないしMRI検査、PET検査による腫瘍個数と大きさ、遠隔転移の有無と場所、病理所見、切除可能性の評価） 6) ゴアテックスシート留置術の手術成績（手術時間、出血量、輸血の有無、挿入したゴアテックスシートの枚数、術中合併症の有無、術後在院期間、粒子線治療までの期間） 7) 有害事象（CTCAE version 5.0に基づく） 8) 無増悪生存期間、全生存期間、局所制御率 9) 粒子線治療の方法と照射後の経過
利用する者の範囲	神戸大学大学院医学研究科外科学講座肝胆膵外科学分野 研究代表者：教授 福本 巧
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	兵庫県立粒子線医療センター 院長：沖本 智昭
研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報利用又は他の研究機関への提供を停止すること。	本研究の対象者に該当する可能性のある方で、試料や情報を研究目的に提供されることを希望されない場合は、下記の申出先、問い合わせ先にご連絡ください。提供を拒否されても不利益を被ることはありません。
研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法	兵庫県立粒子線医療センター 院長：沖本 智昭 0791-58-0100（代）